【2025						合わせ…● アレンジ…ア 保存手話		
	用語	意味	備考	各班	結果	7	本委員会結果	検討経緯
1		然帝低気圧は、その名の 深い熱葉の玉熱葉(まら	<つむじ風・ 旋風>動画	北海道	0	左手を握り真ん中を右手人差し指で右から 左、左手縦に右手「コ」下げる		
			サイト < 熱帯 > 動	東北	0	熱い + 低気圧		「熱帯」の表現は、<熱帯(2019- 35p)>と、<熱帯夜(2013-60p)>の
		たい)の海で発生し、暖か い海からの大量の水蒸気	画サイト	関東	•	暑い/熱帯/低気圧		1動作目の2つある。
	烈带 仏 気 定	をエネルギー源とする低気	<低気圧> 新Ⅱ-87	北信越	0	熱帯 + 低気圧	_	9班の案を見ると、後者を使う班が多い。シンプルな方を採用することに。
		圧です。 台風と熱帯低気圧の違い	751 II 01	東海	0	「熱帯」→「低気圧」	●組み合わせ	
		日風と然市低気圧の違いで、台 風も熱帯低気圧の一部。 熱帯低気圧の最大風速が 17.2m/s以上のものが台 風と呼ばれます。		近畿	•	熱帯 + 低気圧	組みられて	⇒<熱帯夜>の1動作目+<低気 圧>
				中国	•	熱帯 + 低気圧 /熱帯/低気圧/ ※熱帯夜と熱帯の手話表		
				四国	•	/熱帝/伝気圧/ ※熱帝校と熱帝の手品表現が違っていて迷う		※北信越班・近畿班・中国班の案を 採用
				九州	ア	非利き手の掌に沿うように下げ、利き手で 熱と気圧を表現		
			<節約・エコ	コドッキ / *	0	①左手「エ」+右手「ム」をエに向け下げる		
		18.111. +7.4.0.1.1.10	パー(わ2- 264・学 I - 166) >	北海道		②左手「工」を回す+「家」前に出す		
		1 ガソリン・軽油のかわり に電気・天然ガス・メタノー		東北	0	節約+回る		9班の多くの案を参考にして、文字通
	エコス	ルなどを使う自動車のため の燃料補給所。(コトバン	<エコノミー A・B>動画	関東	•	A エコ / 右手「エ」の指先を指先丸めた左 手親指側に付ける / 場所		りの組み合わせ表現とした。
	エコス	ク)	サイト			Bエコ / 捨てる / 場所		
2	テーショ	2 地域に設置されてい		北信越	0	エコ + 場所	組み合わせ	⇒<エコ>+<場所>
	ン	る、新聞や雑誌、段ボー		東海近畿	•	「(指文字の)え」を回し→「場所」 エコ + 場所		※北信越班·東海班·四国班·九州
		ル・ジュース缶・ペットボト ル・衣類の資源回収ス		中国				班の案を採用
		テーション		四国	•	/エコ/(3種類辞書に掲載あり)/場所/		
				九州	ア	エコ(水平に円をえがく) + 場所		
			<反応(わ	北海道	•	「反射」		
		1 反応。「指令が出てすぐ	7-177•学Ⅱ -295) >	東北	0	反応		9班の案を見ると、<はね返す>とよく似た表現が多かったが、意味に合っ
		に一を起こす」 2 逆方向への動き。反動。 「急激な近代化に対する	<反射(わ 10-155・学 II-135)>	関東	Δ	反射		た表現を議論し、<はね返す>のア
	リマカンム			北信越	Δ	反応	7	レンジとした。
3	リアクション			東海	Δ	「反応」にラベル追加	ア アレンジ	s and have been don't have be
		ー」 3 物理学で、反作用。 (goo辞書)		近畿	ア	「反応」をゆっくり表現	,,,,,,	⇒<はね返す>を小さく表す (<はね返す>のアレンジ)
				中国	Δ	反応 /掌を指さす/自分の方に動かす/(反応し		※北信越班・九州班の案を採用(左
				四国	0	て表現するの意味)		手は立てる)
				九州	保	反応		
	世界遺産	1972年にユネスコ総会で	<遺産A> 削除	北海道		「世界」+「遺産」	● 組み合わせ	
			<遺産B (2010-34・	東北	0	世界 + 残る + 財		9班の案はほぼ同じであり、そのまま
			学Ⅱ-23)>	関東北信越	0	世界/財産世界+遺産		採用とした。
				東海	0	「世界」→「遺産」		⇒<世界・国際C>+<遺産B>
4				近畿	•	世界 + 遺産		(右上から胸前へ)
				中国	保	世界 + 遺産		※北海道班·北信越班·東海班·中
				四国	•	/世界/ + /財産/ 自分の方に引き寄せ		国班・四国班の案を採用
					/=			
				九州	保	世界+遺産		
	じゅうようぶんか 重要文化 ざい 財			北海道	•	「大切」+「文化」+「財産」		9班の案はほぼ同じであり、そのまま
		建造物、工芸品、彫刻、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して「有形文化財」と呼ぶ。 そのうち、重要なものを「重要文化財」に指定し、さらに世界文化の見地から特に価値の高いものを「国宝」に指定して保護を図る。(文化庁)	∤などの有形 ことって歴史)高いものを総	東北	0	重い + 文化 + 財	<重要> △ ラベルの追加 <財産B> 保	採用とした。<重要>と<財産B>を 確定。
				関東	•	大切 / 文化 / 財産		<重要> ⇒<大切B>と同じ(ほおを軽くたた
				北信越	0	大切 + 文化 + 遺産		<)
5				東海	0	「大事」→「文化」→「遺産(※動きはつけな		<財産B> ⇒右手掌上向きの指の上方に右手
					(V)]	保存手話 <重要文化財 > ●	拳を置く	
			近畿	•	重要 + 文化 + 財		<重要文化財> ⇒<大切B・重要>+<文化>+<	
			中国	保	大事 + 文化 + 財産		財産B> ※北海道犯・関東班・北信越班・東	
				四国	•	/重要/文化/財	組み合わせ	海班・中国班・四国班・九州班の案を
				九州	•	大切 + 文化 + 遺産		採用
	かっぱい 降応		<断絶(わ4	北海道	•	右側「壊す」・左側「壊す」		
			-206) >	東北	0	断絶(両手人差指の指先を向き合わせ、素早くはね返す)	ボツ	
				関東	保	指先上向きで摘まんだ両手を勢いよく開く		
				北信越	0	インフラ + パー		
				東海	0	両手を2の形にして目の前の線を切るイメー		9班の案を見て、すでに確定した表現
						パー		で問題ないことを確認した。
				近畿 中国	© •	断つ + 断つ		
					_	/生活/ライン/断絶(人差し指先を合わせて		
				四国	•	ずらす)		
				九州	Δ	両手で「はさみ」		

		<発展途上			ナエーギ」 七山 「下口さ ナエーギ」 七山	1	
i		国>確定済	北海道	0	左手人差し指出し下向き、右手人差し指出 し後ろに下げる + 「国」		
i	発展途上国(はってんと	みだが未発 刊。060608	東北	0	遅れる + 国		9班の案を見ると、右手を後退させる 班があったが、「発展途上」の意味の
1	じょうこく)、または単に途上国(とじょうこく)とも言わ	に確定した	関東	•	進歩 / 国	ア●	表現が必要。右手が左手を超えない
1	れる。	らしい	北信越	0	発展 + 途中 + 国		ように動かす。
とじょうこく 途上国	発展途上国とは、先進国と		東海	0	左手5形から右手1形が後方に下がってい く表現	アレンジとの	
是工口	比べて経済や近代産業の		近畿	•		組み合わせ	後方から、右手人差指を左手指先の 少し下まで上げる+<国・国家>
1			中国	•	追いつく + 国		(1動作目は<向上>のアレンジ)
•	ペースシップアース)		四国	•	/発展/中/	-	※中国班・九州班の案を参考
1			71.JN		非利き手「家族」+ 利き手「伸びる」を途中		次十国弘・元川弘・○宋を参与
		< 傷生促業	70/11	_			
ゆうせいしそう	身体的、精神的に秀でた 能力を有する者の遺伝子 を保護し、逆にこれらの能 力に劣っている者の遺伝	法>動画サイト	北海道	0	揺らして上げる		9班の案を見ると、東海班・四国班の 案が良いが、手話が4つ。<(旧)優生
			東北	0	遺伝子またはDNA+思想		
						_	保護法>では<良い>を使ったが、
						組み合わせ	今回の場合はなくてもよい。 ⇒<遺伝子>+<思想> ※東海班・四国班の案を参考
	子を排除して、優秀な人類 を後世に潰そうという思		近畿	•	差別 + 思う + 持つ		
•	想。(ウィクショナリー)		中国	•	優性 + 理想		
1			四国	•	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
			几州	•			
•			北海道	0	②[違う]+「言う」		
•	① 物を言うこと また 物の	言い方。言葉		_	• ,		9班の案を見ると、言い合いや口出し をするような表現が目立ったが、話し 合いを両手で止めて、落ち着いて話
•	遣い。						
ı	(②) 言い合い。口論。 (③) 異議をロに出せてし 性	に相撲で 行				ア	すさまの表現とした。
物言い	司の勝負判定に、審判委員が異議を申し入れること ④ うわさ。とりざた。 ⑤ 話がうまいこと。また、そ	員や控え力士				アレンジとの 組み合わせ	⇒両手掌を斜め外側に向けて置き+ <言う>(2回) (1動作目は<差し込み>(コピー機 用語)のアレンジ)
1							
1	書)					_	※班の案の採用なし
•			四国	•	に)/待って/	_	次列で大学の大/III-より
		2000/=-	九州	保	話す(意味で表情を変える)		
*************************************	長期間にわたり十分に食べられず、栄養不足となり、生存と社会的な生活が困難になっている状態。(ハンガーフリーワールド) 飢えとは、食欲を感じている状態、もしくは望みが満たされていない状態。	18)報告 DVD掲載	北海道	ア		●組み合わせ	9班の案を見ると、お腹が空く表現、
			東北	0	腹が減る		
			関审	0	空腹(強く表現)/ げっそり(両手2指で強		ほおがこける表現が見られた。検討した結果、シンプルに<食べる>と<
		< 米 > < 無 い > < 飢餓 > … 両手で < 貧			· ·		貧しい>の組み合わせとした。
							 ⇒<食べる>+<貧しい>(顎を押
							し上げる)
1	が生命の危機レベルなモ	~"\~\ \				-	
1							しい)を参考
•	7 17 7			_		-	
		<共生イレ		•			
•	① 共に同じ所で生活すること。	ブン>動画 サイト < 共生 > 標	東北	0	共 + 生きる		9班の案を見ると、<一緒>+<暮らす・生活>、<一緒>+<生きる>
きょうせい							
			関東		一緒、共に / 生活		9 生位/、 相/エト生さつ/
	② 異種の生物が 相互に	半手話なし	関東 北信越	保	一緒、共に / 生活 共に + 生きる		(両手拳を1回力強く下ろす)に分か
土土	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する	準手話なし			****	組み合われ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分か
共生	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する こと。相利共生と片利共生	準手話なし	北信越	保	共に + 生きる	● 組み合わせ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を追択。
共生	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する	準手話なし	北信越東海	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」	· ● · 組み合わせ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を追択。 →<一緒>+<生きる>
共生	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する こと。相利共生と片利共生 があり、寄生も含めることが	準手話なし	北信越東海近畿	保 ○	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる	● - 組み合わせ -	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。
<u>共生</u>	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する こと。相利共生と片利共生 があり、寄生も含めることが	準手話なし	北信越 東海 近畿 中国	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる	・ ・ ・組み合わせ ・	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる>
<u>共生</u> 	② 異種の生物が、相互に 作用し合う状態で生活する こと。相利共生と片利共生 があり、寄生も含めることが	準手話なし <座禅(続	北信越 東海 近畿 中国 四国	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」	● - 組み合わせ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる>
共生	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生があり、寄生も含めることがある。(コトバンク)	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) >	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく	● - 組み合わせ -	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。⇒<一緒>+<生きる>※四国班の案を採用
共生	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生があり、寄生も含めることがある。(コトバンク)	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標準手話は	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東	保 ・ ・ ・ ・ で の 保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅	● - 組み合わせ - - - - -	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を資択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典Ⅰ』にはあるので、同
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて神に	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標無評が典に おりますが、これのである。	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東	保 ・ ・ ・ ・ で の 保 ア	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心	Δ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無い
共生	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生があり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて神に、祈ったり、何かに心を集中	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標準手話は 無いが、学	北信越東海近畿中国 九州北海道東北 関東北 東東北信越東海	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を資択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典Ⅰ』にはあるので、同
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心をかいて心をしていたり、何かに心を集中させること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすこと	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標無評が典に おりますが、これのである。	北信越東海 近畿中国 九州 北海北 関東 北信越東 東 北信越	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子	Δ	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 →<座禅>と同じ(目をつぶって)
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて神にになること、心を静めて地に心を集中させること、目を閉じて深く	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標無評が典に おりますが、これのである。	北信越東近畿中四国九州北東東東北信海東北東北東東越東近海	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて) 祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 →<座禅>と同じ(目をつぶって)
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心をかいて心をしていたり、何かに心を集中させること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすこと	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標無評が典に おりますが、これのである。	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東近	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 ⇒<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 ⇒<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にま
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心をかいて心をしたがったり、何かに心を集中させること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすこと	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標準手が、学 習辞 り。	北信越 東海 近畿 中国国 九州道 東東 関信 海 近 東 関信 海 北 東 関 北 海 北 関 月 日 田 田 八 八 田 田 大 田 田 田 大 田 田 田 田 田 五 田 五 田 五 田 五 田	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて) 祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 ⇒<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 ⇒<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にま
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心をかいて心をしたがったり、何かに心を集中させること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすこと	準手話なし <座禅(続 □-63・学Ⅱ -508) > 標無習り。 <レジリ画サ	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東近	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を資択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 →<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にま
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて神にになるこすがったり、何かに心を集中させること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすことなど(ウィキペディア)	準手話なし <座禅(続 ①-63・学Ⅱ -508) > 標無評が典 にあり。	北信越 東海 近畿 中国国 九州道 東東 関信 海 近 東 関信 海 北 東 関 北 海 北 関 月 日 田 田 八 八 田 田 大 田 田 田 大 田 田 田 田 田 五 田 五 田 五 田 五 田	保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」 人差し指両手で頭を叩く+「復活」+「力」		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を資択。 ⇒<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 ⇒<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にま
めいそう	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利ま生とがあり、寄生も含めることがあり、寄生も含めることがあり、マーパンク) 心を静めて無心になること、心を静めて無心になること、心を静めて無心になること、心をがめて神にがったり、何かに心を集中さること、目を閉じて深く静かに思いをめぐらすことなど(ウィキペディア) レジリエント(resilient)は、「弾力性のある」「柔軟性が	準手話なし < <u>座禅(続</u> 1 - 508) > 	北信越 東海 近畿 中国国 九州 北海北 関東 東 北海 東 東 北海 東 東 北 東 北 東 東 北 東 北 東 北 東	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて) 祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」 + 非利き手「拝む」 人差し指両手で頭を叩く+「復活」+「力」 +「男」書籍にあり レジリエンス + 力 + 捨てる 人差指をこめかみから強く前に出す		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる>を選択。 →<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 →<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にま
声型	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心を集めていることがったり、何かに心を集かいったり、何かに心を集かいこ思いをめぐらすことなど(ウィキペディア) レジリエント(resilient)は、「弾力性のある」「柔軟性がある」「電力のある」などの意味を持つ英単語。「レ	準手話なし < <u>座禅(続</u> 1 - 508) > 	北信越東海近半国国九州北海北東北海海畿中国国九州北海北東北海海	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて) 祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」 人差上指両手で頭を叩く+「復活」+「力」 +「男」書籍にあり レジリエンス + 力 + 捨てる 人差指をこめかみから強く前に出す 指文字「れ」が左手を乗り越える	△ ラベルの追 加	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果〈生きる〉を選択。 → < 一緒〉 + 〈生きる〉 ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I 』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 → 〈座禅〉と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にまめる
声型	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利生と片利共生と片利共生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心を集めていること、心をもれて思いをめぐらすことをせること、「呼力性のある」「柔軟性がある」「回復力のある」で、変異などの意味を持つ英単語。「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエントな人」「レジリエン	準手話なし < <u>P-63・</u> (続Ⅱ-508) = が、に を選挙が、に が典 (シン) 動 (シススト	北信越東近畿中四九州道東関信海畿中四九十年東越中四九州道東城區四九州道東関信和北東地東北東越東北東東越東北東越北東越東北東越東	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」 人差し指両手で頭を叩く+「復活」+「力」 +「男」 書籍にあり レジリエンス + 力 + 捨てる 人差指をこめかみから強く前に出す 指文字「れ」が左手を乗り越える 「回復」→「性」		(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 → < 一緒 > + < 生きる > ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 → < 座禅 > と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にまるある
声型	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利共生とがあり、寄生も含めることがある。(コトバンク) 心を静めて無心になること、何も考えずリラックスすること、心を静めて心心を集めていることがったり、何かに心を集かいったり、何かに心を集かいこ思いをめぐらすことなど(ウィキペディア) レジリエント(resilient)は、「弾力性のある」「柔軟性がある」「電力のある」などの意味を持つ英単語。「レ	準手話なし < <u>P-63・</u> (続Ⅱ-508) = が、に を選挙が、に が典 (シン) 動 (シススト	北信越東近、中国九州東東北東越東近、中国九州道東東越東近、中国九州道東東越東近、中国九州道東東越東近、東京越東近、東京越東近、東京越東近、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」 人差し指両手で頭を叩く+「復活」+「力」 +「男」書籍にあり レジリエンス + 力 + 捨てる 人差指をこめかみから強く前に出す 指文字「れ」が左手を乗り越える 「回復」→「性」 柔軟に	△ ラベルの追 加	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 ⇒<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 ⇒<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にまる ある
声型	② 異種の生物が、相互に作用し合う状態で生活すること。相利共生と片利生ととがあり、寄生も含めることがあり、寄生も含めることがあり、寄生も含めること、何も考を静めて無心になることがあり、何かに心をもなどがらずことがあり、何かに心をでなど、何かに思いをめぐらすことができました。など、ウィキペディア) レジリエント(resilient)は、がある」「回復力のある」などの意味を持な人」「レジリエントなどした。いたが、はいいった使用である」「単りがなどのできなど、ウィキペディア)	準手話なし < <u>P-63・</u> (続Ⅱ-508) = が、に を選挙が、に が典 (シン) 動 (シススト	北信越東近畿中四九州道東関信海畿中四九十年東越中四九州道東城區四九州道東関信和北東地東北東越東北東東越東北東越北東越東北東越東	保	共に + 生きる 「一緒」→「生活」 一緒 + 生きる ①共 + 生活 ②共 + 生きる /一緒/生きる/ 一緒を水平に回す 「瞑想」 静か + 落ちつく 指先でこめかみを後ろに撫でる / 座禅 落ち着く + 無心 「(目を瞑りながら手を合わせて)祈る」 体の前の方で手を組む様子 目潰して + 瞑想 /目を閉じる/座禅/ 利き手「無し」+ 非利き手「拝む」 人差し指両手で頭を叩く+「復活」+「力」 +「男」 書籍にあり レジリエンス + 力 + 捨てる 人差指をこめかみから強く前に出す 指文字「れ」が左手を乗り越える 「回復」→「性」	△ ラベルの追 加	(両手拳を1回力強く下ろす)に分かれた。協議をした結果<生きる>を選択。 ⇒<一緒>+<生きる> ※四国班の案を採用 標準手話には「瞑想」のラベルが無いが、『学習辞典 I』にはあるので、同表現でいいか確認をした。 ⇒<座禅>と同じ(目をつぶって) ※中国班・四国班の案を1動作にまる 標準手話に<レジリエンス>があるの
	po jetu L R i jetu L	上ででは、	上述で経済や近代産業の 水準が経入、名の総称、(スペースシップアース) 「一次企業の 水準が経済を設し、ででた子 能力を護し、逆にこ者の遺伝 子を後し、逆にこ者の遺伝 子を後世に遺そうという思想。(ウィクショナリー) 「動を言うこと。また、物の言いなまな、質別の を後世に遺そうという思想。(ウィクショナリー) 「動を言うこと。また、物の言いない。口出すこと。特に相撲で、力 一面のいる。 「ののでででいる。 「のの辞者を感じない。」。 「記述の表とのが表しまた。また、その人。 (goo辞者) 「のの辞者のなななないないないないないないないないないないないないないないないないないな	上でて経済や近代産業の 水準が低く、発展途上段 階にある国々の総称。(ス ペースシップアース) 上海道 身体的、精神的に秀でた 能力を有する者の遺伝子を保護し、逆にこれらの能力に劣つている者を人類 を後世に遺そうという思 東北 電い。(ウィグショナリー) 北海道 東海 近畿 東海 近畿 東海 近畿 東海 近畿 東海 近畿 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東海 近畿 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東海 近畿 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東海 近畿 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東海 近畿 (18) 報告 東海 近畿 (18) 報告 東海 近畿 (18) 報告 東本 近畿 (18) 報告 東本 近畿 (18) 報告 大名の人。(goo辞 中国 四国 九州 北海道 東北 (18) 報告 東本 近畿 (ハンガーフリーワールド) 飢えとは、食欲を感じている お状態、もしくは望みがが高 たされていない状に、もい気状態。(ハンガーフリーワールド) 飢えとは、食欲を感じている状態。(ハンガーフリーワールド) 飢えとは、食欲を感じている状態。(ハンガーフリーワールド) 乳えとは、食欲を感じている状態、もしくは望みがが高 たされていない状態態。もしくは望みがが高 たされていない状態態。もしくは望みがが高 たされていない状に、もしくは望みがが高 たされていない状態態。もしくはな望みがが高 たされていない状態態。もしくは、18) 報告 東北 (利齢) (利齢) (一部 (利齢) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18	上べて経氏、発展途上段	ルベで経済や近代産業の 水準が低く、発展途上段 階にある国々の総称、(スペースシップアース) 2	比べて経済や近代産業の 水管が低く発展油上段 Richard Sulpara (Amplitude Sulpara Sul

			<偽装(わ	小冷		「カエフラニジ」・事鑑けれり							
14		① 敵の目をくらますため、 軍艦・戦車・建造物・身体 などに迷彩などを施すこ と。また、その迷彩。偽装。	8-69・学Ⅱ-	北海道	0	「カモフラージュ」書籍にあり うそ + 変わる		標準手話の<ごまかす>は、右手の みの表現。<偽装>は左手を添えた					
			261) >	東北									
				関東		嘘/騙す、あざむく/補正		表現。<へえ>を加える案も出された					
	カムフ			北信越	保	ごまかす	ア アレンジ	が、シンプルに<偽装>の1動作目 のみとした。					
		② 表面をとりつくろって、		東海	Δ	「偽装(ⅡP.261)」にラベル追加							
	ラージュ	人の目をごまかすこと。「失 敗をうまくカムフラージュす								近畿	<u> </u>	片手を覆い隠すようにする	
		る」(コトバンク)		中国		フード被る姿 + 誤魔化す 掌を前に出し少し回しなら その後ろで/ご		(へ) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本					
				四国	ア	まかす/		※北信越班の案を採用					
				九州	•	あいまい							
			<燃える・炎 上(2014-	北海道	0	両手親指小指を立て向かい合せに上に動							
			25) > < 火 曜日、火(わ 1-200、学 I -239) > < 火、火曜日	エ(2017 25) > <火 曜日、火(わ 1-200、学 I -239) > < 火、火曜日	25) > <火 曜日、火(わ 1-200、学 I -239) > < 火、火曜日	25) > <火 曜日、火(わ 1-200、学 I -239) > < 火、火曜日			かす				
							1-200、学 I -239) > < 火、火曜日	1-200、学 I -239) > < 火、火曜日	東北	0	燃える + 広い		
											A 軽く丸めた両手をひねりながら上に(燃える)		
									関東	保	る) B 「W」形の両手を両目の前でひねりながら トに		
1.5		炎を立てて勢いよく燃え広 がるさま。「-(と)燃える	(学 I -239) >			110	ボツ	オノマトペは検討しない方針とした。					
15	メラメラ	がるさま。「ー(と)燃える」 「嫉妬の炎をー(と)燃や		北信越	保	両手で市が燃える様子を表現							
		す」(goo辞書)		東海	0	「(火が激しく燃えている様子)」							
				近畿	0	両手を両目の前で下から上へ燃える様子							
				中国	Δ	燃える							
				四国	ア	①火事の場合は炎を表現 ②気持ちの場合は目のところで表現							
				九州	0	両手3本指を目の位置でメラメラと動かす							
			<液晶ディス	北海道	0	左手「L」の形+右手でパネルを押す動作							
			と4指で薄型を下から上へ	東北	0	タブレット + タッチ		9班の案を見ると、ほとんど似た表現					
	タッチパ	液晶パネルのような表示装置とタッチパッドのようなポインティングデバイスを組み合わせた部品であり、画面に直接触れて操作するための入力装置である。タッチ画面、接触画面などとも。(ウィキペディア)		関東	0	左手「レ」の中を右人差指で3回タッチ	ア	だが、押す位置や回数がいろいろ。 実際には状況に合わせた表現になる					
				北信越	保	タブレットを操作する仕草		が、標準手話単語としては、決めてお					
16				東海	0	「(スクリーン・パネル)」+「(指で押す)」		きたい。 ⇒左手「L」の横で右手人差指で左					
10			44) >の右手	近畿	0	片手を「エル(L)」の形にして、その間の空	アレンジ						
	177		の動作を両手で表す			間をポンポンと押す		側、右側の順に画面をタッチするよう に動かす(<タブレット>のアレンジ)					
			く液晶>動 画サイト	中国	•	タブレット + タッチ		※東海班・近畿班の案を採用					
				九州	● Æil	/画面/をタッチする様子							
				ノレクヤ	創	非利き手の人差し指で2回横に押す表現 左手前に向け右手で手の甲と手のひらに							
				北海道	0	触れ、右手2指後ろから前に移動 + 仕方		9班の案を見ると、<仕方ないB>を 拳で表す案や、お腹と背中に触れた 両手を入れ替える動作をしてからく 仕方ないB>を表現するなど工夫が 感じられた。<仕方ないB>をゆっくり 表現することでまとまった。					
	背に腹は 代えられ	《腹は、背と交換できないの意》さし迫った苦痛を回避するためには、ほかのことを犠牲にしてもしかたない。(goo辞書)切羽詰まった状況を突破するために、仕方なく物事を選択をする。(小学館)	自った苦痛を回 りには、ほかのこ してもしかたな 書)切羽詰まっ 長破するために、 事を選択をす			がない	- △ - ラベルの追 加						
				東北	保	思うとおり + 進める							
				関東	0	背中と腹に左右の指先を当てた後、逆にする/難しい/仕方ない							
17				北信越	0	犠牲 + 決心							
11				東海	Δ	「仕方ない」にラベル追加							
				近畿	•	出来ない + 仕方がない		⇒<仕方ないB>と同じ(ゆっくり表す)					
	'A V			中国	•	仕方なく + 受ける		97					
				四国	保	/やむを得ない 仕方ない/の表現をゆっく		※東海班・四国班の案を採用					
					^	りとより強く表現 犠牲(片手)	-						
				九州	Δ								
		天変と地異。天空に起こる変異。 変動と地上に起こる変異。 天地の間に起こる自然の 異変。風、雨、雷、日食、 月食、彗星や地震、洪水 など。(コトバンク)		北海道 東北	• ©	右手「空」「辺り」+「変わる」 天気 + 波並行							
	7 120. 271			関東	0	空/地/変、以上	● 組み合わせ	9班の案を見ると、天地を表す表現 に、<混乱>や<変>、<変わる>					
				北信越	0	全/地/変、以上 上下を入れ代わり + 混乱		を組み合わせた表現が見られた。検					
				東海	ア	「混乱」を逆向きに大きく表現		計の結果、<変>を採用した。 ⇒<空>(指広げる)+掌下向きの					
18				近畿		地球がゆがむ様子							
				中国	•	天気 + 変わる		右手を水平に回す (大地)+<変・ 異次元・とんでもないD>					
						/天/地/ を表現し 指先を曲げて上下に							
				四国	•	し、一変わる		※関東班の案を採用					
				九州	ア	逆							
				北海道	0	「暗い」+左手「家」+ 右手親指立て家の							
19	とうだいもとくら 灯台下暗 し	灯台のすぐ下は暗いところ から、身近な事情はかえっ : てわかりにくいたとえ。 (goo辞書) 人は身近なことには案外 気付かない。(日経メディ カル)				前から中に入る	ア ● ・アレンジとの ・組み合わせ	9班の案を見ると、<見る目がない> ほか、保存手話が多くみられた。検討 の結果、9班の案にはなかったが、<					
				東北	•	灯り + 下 + わからない 左人差指の先で燃える(燭台)/ 燭台の下							
				関東	0	左人差指の先で燃える(嫡音)/ 嫡音の下 を右手で探る							
				北信越	保	目 + 安い		しまった>を最後に追加することとし					
				東海	Δ	「(目が安い)」にラベル追加		た。					
				近畿	0	顔を隠す→相手の下の方をを指さす							
				中国	•	目 + 見落とし							
				四国	保	足元を指さし /目 安い/							
						A:非利き手の中指を目の下にあて、はね							
				九州	保	あげおとす B:利き手の親指と人差し指を目元にひき							
						つけて閉じる							
			*										

	1				T	1	
20		去っていく者は、跡が見苦 しくないように始末してから 出立しなくてはならないと いうたとえ。また、引き際が いさぎよく、さわやかなたと え。(コトバンク)	北海道	•	「汚い」+「きれい」+「必要」		拡大本委員会でも検討を行った。九 州班の案が美しい表現ということで多 数決で決定した。
			東北	0	きれい + バイバイ	〇 合成	
	た とりあと 立つ鳥跡		関東	0	きれい / 終わる / 鳥が飛び去る		
			北信越	0	引継 + 平和		⇒右手親指と4指で左手掌をはさみ
			東海	0	「きれい」→「引退」		<美しいB(きれい)>の動作をし、続けて<帰る>を斜め右上へ上げてい
			近畿	0	きれいに + 終わる + バイバイ(.何)		<
			中国	•	綺麗 + 避ける + 遠慮		(<美しいB(きれい)>と<帰る>の 合成)
			四国	但	/きれい/常識/		※九州班の案を採用
							X,10/11/21/2/ Z L IX/11
			九州		きれい + フェードアウト(右上に)		
			北海道		指文字「ほ」+「お茶」		再検討を行ったが、保留とした。 「茶」の表現がいくつかあるが、ある表 現をまだ確定していないことがわか り、く茶C>として確定。
			東北	0	指文字で「ホ」+ 茶 煮る / 香りをかぐ / お茶		
		煎茶や茎茶、番茶などを強火で焙じて	関東北信越	ア	指文字「ほ」を回す + お茶を注ぐ仕草	保留	
21	5.5	製造したものをいいます。	東海	•	「茶色」→「茶」		
21	ほうじ茶	番茶との違いは焙じているかいないか。	近畿	•	** ** ** ** ** ** ** *	<茶C>	<茶C>
		(ちきりやHP)	中国		ほ指文字 + 茶	保存手話	> ボビノ ⇒ < 茶B > の2指の指先を下に向け
			四国	保	鍋で回しながら煎る様子をして/茶/		て表す(急須の取っ手の表現)
			九州		非利き手:指文字「ほ」+ 利き手「お茶」	_	
			北海道	•	指文字「せ」+「お茶」		
	煎茶	煎茶は緑茶の中の一つの種類。 緑茶は、生のお茶の葉を発酵させずに 製造した不発酵茶で、煎茶(せんちゃ)、 玉露(ぎょくろ)、番茶(ほがちゃ)、抹茶 (まっちゃ)、焙じ茶(ほうじちゃ)など、さ まざまなお茶をまとめた呼び名を指す。 その中で現代の日本人が日常に飲んで いる緑茶の代表が煎茶。日光を遮らず に栽培し、茶葉を蒸して揉みながら乾燥 させたものです。(水と生きる SUNTORY)	東北	©	指文字で「セ」+茶		再検討を行ったが、保留とした。
			関東	0	両手で茶葉をもむ仕草 / お茶		
			北信越	ア	前 + お茶を注ぐ仕草	保留	
22			東海	•	「蒸す」→「茶」		
			近畿	•	茶・茶・茶 (3回繰り返す)		
			中国	•	世指文字 + 茶		
			四国	•	/せん(指文字)/茶/		
			九州	保	非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」		
	テザリング	Wi-Fi対応のパソコンやゲーム機などか らスマートフォン、もしくは4Gケータイをア クセスポイント(Wi-Fiルーター)としてイ ンターネット接続できる通信機能。	北海道	•	左手拳に指文字「ひ」をのせ一周 + 「関係」	● 組み合わせ	テザリングのマークの形から着想し、 両手2指の輪を繋ぐか、重ねるか検討 を行った。〈キス〉と間違わないよう、2 指の指先を前後に少し重ねる表現と した。
			東北	0	インターネット共有のマークの形から表現		
			関東	0	国際手話指文字「W」/ 右手掌下向きで指 先を前に出す		
00			北信越	0	左手はスマホを持つ形 + 右手を広げ、 ネットワークを表現		
23		「テザリングオプション」をご利用いただくと、Wi-Fiに対応したゲーム機やパソコンを自宅や外出先でインターネットに接続できるようになります。 (Softbank)	東海	0	両手2指の輪をくっつける(テザリングの マークをイメージ)		⇒指文字<テ>+両手指文字<メ >を左右から近づけて指先を前後に
			近畿	ア	スマホを電波が通って広がる様子		重ねる(指文字とテザリングのマー クの表現との組み合わせ)
			中国	•	スマホ + センサーか接続		
			四国	0	テザリングのマーク /c/を横向けにして上 下嚙合わせる		※東海班の案を参考
			九州	•	両手「d」をつくり、関係		
	7. 27. 2	動物の毛などが豊かで、やわらかいさわ り心地であるさま。名詞的にも用いる。 (例:「もふもふした子猫」など)	北海道	ア	「柔らかい」	ボツ	
24			東北	0	やわらかい		オノマトペは検討しない方針とした。
			関東	0	両手指先を柔らかく開閉しながら頭から肩		
			北信越	(i)	まで下げる 身体の前で「ふわふわな雲」の手話を表		
			東海	0	現。 左手肩から手首の方に、右手を乗せて柔ら かな感じで動かしながら移動		
			近畿	0	柔らかく両手で表現		
			中国	Δ	ふわふわ		
			四国	ア	やわらかい様子		
				ア	両手で抱いて、頬をこすりつけるようなしぐ		
			九州	,	*		